

検査ニュース

No.108

ご挨拶

平素より、佐賀県医師会成人病予防センター業務には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
今回は、「検査内容変更」についてご案内申し上げます。

佐賀県医師会成人病予防センター
担当理事 志田 正典

■ 変更項目および変更内容【平成 22 年 11 月 1 日(月)ご依頼分より】

検査項目：インフルエンザウイルス A 型・B 型(HI 法)

使用抗原株を、本年度の流行予測による平成 22 年度ワクチン株に対応した抗原株に変更いたします。

案内書掲載頁	項目コード No.	検査項目	ウイルス抗原株	
			新	現
58	1851	インフルエンザウイルス A 型 (H1N1)	A/カリフォルニア/7/2009pdm	A/ブリスベン/59/2007
		インフルエンザウイルス A 型 (H3N2)	A/ビクトリア/210/2009	A/ウルグアイ/716/2007

※ pdm : Pandemic (世界的な大流行)

※ A/H1N1 型は、従来のソ連型から、新型インフルエンザ (A/H1N1) に変更になりました。

検査方法および基準値等の変更はございません。

● B 型は昨年度と同じ株が使われています。

案内書掲載頁	項目コード No.	検査項目	ウイルス抗原株
58	1848	インフルエンザウイルス B 型	B/ブリスベン/60/2008(変更なし)

参考資料: 季節性インフルエンザと新型インフルエンザ(A/H1N1)

季節性インフルエンザと、平成 21 年 (2009) に発生した新型インフルエンザ (A/H1N1) を比較して表にまとめましたので、以下にご紹介します。

	季節性インフルエンザ	2009年の新型インフルエンザ(A/H1N1)
ウイルス型	A型(A/H1N1, A/H3N2)、B型が中心	ブタ由来のA型(A/H1N1)
症状	突然の38℃以上の発熱 咳、くしゃみ等の呼吸器症状 頭痛、関節痛、全身倦怠感等	突然の38℃以上の発熱 咳、くしゃみ等の呼吸器症状 頭痛、関節痛、全身倦怠感、下痢、嘔吐等
感染経路	飛沫感染が中心	飛沫感染が中心
感染力(Ro)	1.3	1.2~2.7
致死率	0.05%以下	0.0004~0.58%
合併症(肺炎)	細菌性肺炎が中心	ウイルス性肺炎が中心
脳症発生年齢	0~4歳が中心	0~15歳が中心
治療薬	ノイラミニダーゼ阻害薬	ノイラミニダーゼ阻害薬

ワクチンニュース「生研」平成 22 年 8 月号より